

学校だより



平安

6月号

あったかハートでHey!安心!!

## 実体験で得られる成長

学校長 中村 浩子

今年は例年と気候が違い、勢力の大きな台風も発生し、今後の進路が心配されます。入学式に合わせるように咲いていた桜は卒業式の頃に咲き乱れ、ゴールデンウィークに楽しんでいたツツジは4月中に満開を迎え、梅雨時に咲くアジサイは今きれいに色づいています。このまま、いつもより早く夏がやってくるのでしょうか。5月でも真夏日となる日があり、暑さに慣れていないこの時期が熱中症も多いと聞きます。学校でも、運動するときには、こまめな水分補給をしたり、マスクを外すように声をかけたりして、十分注意していきたいと思います。

さて、先日教室を回っていたら、3年生が国語辞典の使い方の学習をしていました。3年生では、国語辞典の使い方を知り、言葉の意味を調べたり、文脈を意識した言葉を選んだりして、言葉の世界がより広がり、深まるように学習しています。以前は入学や卒業のお祝いに辞書をいただいたり、重いと言いながら学校へ自分の辞書を持って行ったりしたものでした。

最近、言葉の意味を調べるときも、漢字がわからないときも、スマートフォンやパソコンを頼っていることが多いかと思います。高校入学時に電子辞書を購入するよう言われ、その結果、英和辞典や和英辞典を使えない高校生もいるようです。

スマートフォンを持たせたら、スマートフォンに夢中になって、家事の手伝いをしなくなった、ずっと画面を見ていて空返事が多くなったという話も聞きます。確かにスマートフォンが1台あるだけで、電話ができ、メールができ、本や新聞が読めて、ゲームができて、電卓の機能があって、目覚ましになって、辞書になって、行きたい場所に案内してくれるとても便利な機器です。しかし、便利だからといって、デジタル機器に頼りすぎる生活をするのではなく、紙の本や新聞を読む、対人式のゲームをする(トランプやボードゲーム等)、概数で暗算する、目覚まし時計を使う、紙の辞書をひく、紙の地図を見ていきたい場所へ行く等することが、子どもの成長につながるのではないのでしょうか。

学校では、1人1台の端末があり、すぐに使える状況の中ですが、電子機器に頼るだけではなく、自分で植物を育てる、読書をする、話し合いをする、実験をする、クラスレクをする、インタビューをするなどの実体験をしたり、コミュニケーションをとったりする機会をしっかりとっていききたいと思います。今月も引き続き、ご協力よろしく願いいたします。